



## 県中の生徒たちが防災訓練で避難者の受付

「気づき」が生まれた熱気のコもった時間でした。

体育館の中央では、段ボールベットやパーティション、テントが組み立てられています。試行錯誤の連続です。初めて実施したことで、多くの「気づき」が生まれた熱気のコもった時間でした。

勢60名を超える方々が、初めての訓練にチャレンジ。防災倉庫から資機材を搬入し、まずは、避難所となる体育館のレイアウトづくり。思い描いたようにいかない時間が経過していきます。一方、避難者として数名の方々の受付が始まっています。避難者利用登録票に必要な事項を書き込みます。

### コラムかなえ

県地区自主防災会では、11月16日に、「指定避難所の開設・運営訓練」を実施しました。当日は、役員や地区拠点班の市職員のほか、ジュニアボランティアとして、

### CONTENTS

- 地域振興  
指定避難所の開設・運営訓練他
- 健康福祉  
ふるさと県ふれあい広場・文化祭他
- 生活安全  
交通安全啓発活動
- 子どもを育む  
かなえコミュニティスクール他
- 環境衛生  
秋のこみゼロ運動実施報告他
- 消防団  
秋季非常招集訓練 ほか

# 地域振興

## 「指定避難所の開設・運営訓練」を本格実施 自主防災部長 奥村仁司

本年元日早々に発生した能登半島地震は記憶に新しいところですが、この地震では多くの教訓を私たちに残しました。自然災害はいつどこで発生するか予測できません。能登半島地震ではライフラインの断絶による不向き、特に水の確保には苦労されておりました。また避難所生活の大変さも連日テレビ等で報道されておりました。県地区での備えは十分であるか今一度考えさせられるものでした。

本年のまちづくり委員会では防災体制の充実を重点課題の一つとして取り組んでいきます。防災講座の実施、安否確認方法の見直し、井戸水の調査等を進めています。

9月1日に予定されています。



防災倉庫から資機材を搬出

した飯田市の防災訓練は台風の影響で中止となりました。しかし県地区では防災訓練の重要性に鑑み、11月16日、指定避難所の開設運営を目的に防災訓練を実施いたしました。県地区の指定避難所は、小学校の体育館2カ所です。今回は中学校体育館を会場に実施いたしました。避難所開設訓練は初めての実施です。9時に関係者が防災倉庫前に集合し、資材を体育館へ搬入後、レイアウトの設定、受付準備、受付実施、防災資機材の組み立てを実施いたしました。今回は上山区より、避難者として協力をいただきました。また中学生9名にボランティア参加してもらい、受付及びレイアウト設定を体験してもらいました。訓練後の反

省会では多くの意見が出されました。  
1 開設後の役割分担の決定の進め方が不明確  
2 女性の立場を反映した運営方法の検討  
3 若者の参加が必要で、若い人ができる役割がある  
等々上げられ、次回の訓練、実践での課題となり、有意義な訓練となりました。



パーティション内で避難者のレイアウトを確認

## 「議会報告会・意見交換会」に参加して 主任児童委員 坂巻敏夫

市議会については、「議会だより」で目を通すくらいで、あまり興味がありませんでした。今回初めて「議会報告会・意見交換会」に参加させていただきました。

市議の皆さんは、市民の意見を直接に聞いて、より良い市民生活ができるように具体的に政策にまとめ毎年発表されていることを知り、私たちも協力していかなくてはと思いました。昨年度の報告書では、少子高齢化と地域共生社会について具体的に報告されていきました。この問題は、他人事でなく、私も該当する世代であり興味深く読ませていただきました。

## 「コイレク実行委員会」として 実行委員長 多田俊輔

今年度も昨年に引き続き、各団体協力のもと、婚活イベント実行委員会を立ち上げ、11月30日開催に向け準備を行ってまいりましたが、参加人数が規定人数に達せず、残念ながら、今年度はイベントを中止せざるを得なくなりました。応募いただいた皆様には

ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。  
参加者数の不足の要因として、主に広報活動が不十分であったこと、同時期に他のイベントと重複し、参加者が分散してしまったことが挙げられます。イベントへ参加応募いただいた皆様にはアンケートのご協力をいただき、今後は、参加者のニーズに合ったイベント運営のために参考にさせていただきます。

独身男女の出会いの場づくりを支援するこの事業は、県の未来を担うものです。来年度も引き続き、実行委員会を継続して立ち上げ、イベントの企画運営を行って参ります。参加者の確保については、地域の皆様のご協力が必要不可欠となります。地域全体を盛り上げるためにも、引き続き、皆様のご協力を何卒宜しくお願いいたします。



### まちづくり委員会がリニア 松川工区現地視察を実施

建設部長 前澤清隆



トンネル内においてJR東海から説明

リニア松川工区の現地視察を9月24日に実施。昨年の視察時に見られなかったトンネル内は対策会議で聞いていた通りで広々としており、リニアが走る姿を思い浮かべ実感できました。品川方面黒田工区側は壁になっておりあと百メートル程で坑口だ、と説明を受けました。トンネル内は松川ニュース等の進捗状況で説明を受けた通りで、ロックポルトや吹き付けコンクリート、鋼アーチ支保工等が目の当たりに見ることができ、実際に現地で見ることができ、納得することができました。昨年発



JR東海から工事工程等の説明を受ける役員等

生したトンネル内事故（掘削中の重機のアームがトンネルの上部壁面に接触して、壁面のコンクリート破片が落下し、下で作業中の作業員の首に当たったという事故）がとつさに思い起こされました。トンネルの外では、黒田工区と松川工区を橋で繋ぎますが、その坑口の説明を聞きました。坑口は山の中腹傾斜のある場所に重機を据え付けての作業状況を見て唖然とした様子でした。その説明にも熱が籠っており、実際に見た現場では、工事の大変さをまざまざと感じました。このようにして、実際に現地を視察することの重要性と必要性を改めて理解いたしました。



松川工区の位置を示す看板

私達同志会は2月11日に設立総会を開き活動をスタートしました。最大の行事は壮年団と共に参加する矢高神社秋季祭典御神輿奉納です。そこで鼎地区パワーアップ事業を活用して同志会員の士気と連帯意識を高めようと、きおい時等に着用する半纏を作成しました。当日、黒装束の壮年団員と白半纏の同志会員が力を合わせて御神輿を奉納しました。壮年団員から「早く白半纏を着たい」という声が多数聞かれ

**鼎地区パワーアップ事業  
採択団体等の紹介**  
**上山区「同志会」**  
会長 関島直人

ました。私達と一緒に白半纏を着て御神輿奉納等をする会員を増やし、伝統文化の継承、地域活性化に繋げていきたいと思っています。



**鼎地区パワーアップ事業  
採択団体等の紹介**  
**「お食事処・夢」**  
オーナー 北村裕美

お食事処・夢では地域の居場所としてコミュニティカフェを開始しました。9月にはマルシェを行い地域の子ども達から高齢者の方々が楽しめる体験や太鼓演奏や宝投げなどのイベントを行い交流を図りました。またその夜にはコミュニティ居酒屋として様々な年齢の方々が地域について話し合う機会を設けました。

皆さんからいただいた意見を形にするために、多世代交流や子ども達の体験の場づくりなど、様々な交流等が実現できると配慮してあります。これまで、毎月子ども達のお料理教室や高齢者の体操教室の開催、学生を中心とした動画編集体験などを行ってきています。

色々なイベント開催や体験という機会の中で多世代の人が集まり一緒に体験し学ぶことで、多くの人が知り合うきっかけとなる場所となりました。お食事処・夢がこの地域の第三の居場所となつて、地域の人々が楽しめるような活動を、今後も続けていきたいと思っております。



# 健康福祉

## 『ふれあい広場・文化祭』

～初日は大雨、2日目は強風の中で～

総務運営部会長

(下茶屋)

加藤善弘

11月2日(土)・3日(日)に「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」が開催されました。

健康福祉委員会は、公民館大駐車場での模擬店・フードドライブと、体育館での展示・絵手紙制作を担当しました。

初日は、台風21号と秋雨前線の影響で大雨となり、模擬店は中止となりましたが、開



フードドライブ  
(中学生ボランティアの協力)

会式と一部のイベントは、文化センターホールで行われました。フードドライブも、会場を体育館入口に変更して行いました。絵手紙の制作では、大雨にもかかわらず、大勢の方々にご来場をいただき多くの絵手紙を制作していただきました。

2日目は、秋晴れに恵まれましたが、思わぬ強風のため、大駐車場の模擬店のテントが飛ばされなにか心配しながらの開催となりました。前日雨のため体育館入口で行ったフードドライブも多くの持ち込みがあり、絵手紙の制作にも大勢の来場者がありました。フードドライブですが、皆様の家庭等で余っている食品をお持ちいただき総数242点、総重量141.33kgを集めることができました。心



模擬店会場 餅つき

より厚く御礼申し上げます。また、今回は鼎中学校の生徒さんにボランティアとして、受付・集計作業をお手伝いしていただきました。文化祭でのフードドライブは、4年目となりましたが、開催目的の一つでもある「ともに助け合い、協力し合い見守り合っていく福祉のまちづくり」を踏まえ、皆様にご理解・ご協力をいただきながら、引き続き



絵手紙制作風景



絵手紙制作 作品の一部

取り組んでいきたいと思いましたが。最後に、文化祭開催にあたり広告の協力をいただいた企業様、ありがとうございます。た。



フードドライブ 2日間の実績

## 世代間交流会

西鼎支部長

多田尚登

西鼎区では、高齢者の方々と、日頃なかなか話すことがない『子ども達』と、一緒に七夕の短冊作りやおしゃべりをして楽しいひと時を過ごしていただくため、7月27日開催の西鼎区夏祭りに併せて『世代間交流会』を行いました。

夏祭りは区民が世代を超えて交流する貴重な機会となっており、区の皆さんが楽しみにしているイベント。世代間交流会もその中で、高齢

者と子ども達が直接ふれあう良い機会になりました。短冊作りでは、それぞれの願いを短冊に書き込み、笹に括り付けました。その願いが叶って欲しいなと思いましたが。その後の茶話会では、子どもが照れ臭そうに自己紹介をしてくれ、それぞれのお子さんの親御さんが誰なのかを改めて知る機会にもなりました。また、健康福祉委員会から発行した500円の『ご長寿祝い券』も、お祭りの飲食の購入に使い大変喜んでいただきました。

今回の交流会で、世代を超えた一体感を味わうことができ、地域の絆が深まり、今後の世代間の交流をさらに促進する良い機会になりました。次回もぜひ開催して欲しいとの声も多く聞かれました。



西鼎 世代間交流会

# 生活安全

## 明星保育園

### 交通安全教室

中平支部長 黒河内守仁

10月28日(月)、曇り空の下、令和6年度2回目となる明星保育園交通安全教室が行われました。

はじめに、悲しい話です。明星保育園のすぐそばで、死亡事故が起きてしまいました。普段、何気なく使っている生活道路、交差点も人が歩いていると思いがら運転してください。私も改めて気をつけたいと思いました。

保育園に着くと、さつそく子ども達の元気な声が聞こえてきました。今回は、名古屋交番の小池所長、生活安全委員2名が参加しました。

初めに道路を歩く時に注意することの話を聞き、ほし組さん、つき組さん、にじ組さんそれぞれのコースに分かれ

て出発しました。私はつき組さんと一緒に歩きました。2人ずつ手をつないで、教えてもらったとおり手をあげて、左右を確認して横断歩道を渡り、園の周りを一周しました。園に戻り、おまわりさんから園児のみなさんすっかりできましたと褒めてもらいました。さらに、お店の駐車場で

は親と手を繋ぐこと、車に乗る時はチャイルドシートに座ることの二つを約束しました。今年春と秋の2回の交通安全教室に参加してみて、秋は春の時より落ち着いて取り組んでいる様子に子ども達の成長を感じ感動しました。

〜みつば保育園・  
鼎あかり保育園〜



## 秋の交通安全運動

### について

切石支部長 松本 剛

9月24日(火)朝7時から人波ルート作戦、同日15時30分より松尾・上郷・座光寺地区との合同人波作戦、9月29日(日)には交通指導所の開設が実施されました。

私も交通安全ののぼり旗を手に持ち歩道に立ちました。近年道路状況も良くなり、スムーズに運転できるようになりました。しかし、何かあった時に車が停止できる速度か今一度考えて法定速度を守り走ってほしいと思います。また、一步裏道に入れば見通しが悪い路地も多くあります。急な飛び出しやスマホを見ながらの歩行など危ない歩き方をしているのか、歩行者も注意が必要だと思います。

先日切石区で交通安全対策について意見を求めた際、令和3年度に鼎地区住民各戸に1本反射タスキが配布されたと聞き、この反射タスキの活用をお願いしました。鼎地区においても、ぜひ反射タスキを使用して交通事故から自分の身を守ってください。





かなえコミュニティスクール

委員長 森 貴

コミュニティスクールとは、「目指す子ども像」の実現のため、「学校」「地域」「家庭」が目標を定めて、地域住民や保護者の方々が学校と「協働」して子ども達を育んでいく仕組みです。

次年度、飯田市では「学園構想」がスタートします。飯田市各地区の中学校区単位で小中学校をまとめた「学園」をつくり、地域の特性を活かした特色ある教育活動が始まります。

県地区でも、県小学校と県中学校を1つの学園とした小中一貫教育が令和7年度から始まり、令和7年度は特設教科の学習内容を検討し、令和8年度から本格的にスタートします。

9月27日に参加させていた

だいた中学校の若鮎祭の開会式には、県小学校の6年生が参加していました。一貫教育の一端を垣間見ることができました。

さて、子どもを育む委員会では登下校時の見守り活動を、通年を通して実施しております。また、各支部は特色ある催しで、賑わっています。

一色では夏休みに一色塾を開催。やるからには「特別な思い出として残ってほしい」という思いで、特別講師を依頼、ものづくり中心でしたが、楽しんでもらえたと自負しております。中学校ボランティアも大勢の参加があり、運営に尽力していただきました。異年齢交流もできて企画としては大成功でした。

今の子どもは外で遊ばない、できるだけ外で遊ばせない、外は心配で遊ばせられない、遊ばせる余裕がない等、様々な環境がある中で、子どものために何ができるのか、何が必要なのか、考え方をアップデートしてより良い環境をつくっていかけるよう、ご協力をお願いいたします。



東 出前工房

8月25日に東県公民館にて、『出前工房』を行いました。地区の小学生と保護者を対象に、「南信州飯田おもしろ科学工房」の二人の先生にご指導いただきました。

まずは、バルーンスライム作りから。専用のりと、ほう砂を混ぜ合わせてスライムを作ります。そのあとストローでバルーンを膨らませ、各自好きな色を使いそれぞれ素晴らしい作品が完成しました。



次はダンボール空気砲です。ダンボールを組み立てて密封したあと、空気砲発射の穴を開けます。そこへ紙コップのミサイルを入れ、箱の横を両側から叩くとバーンと飛んでいきます。子ども達の表情は真剣そのものでしたが、大人の方がかっと真剣だったかも(笑)。親子共に楽しい時間を



過ごすことができ笑顔いっぱいの体験学習でした。

これからもいろいろな活動を通して子ども達が健やかに成長できるように地域の皆様と共に見守っていききたいと思っております。

中 夏の学習会と秋のお祭り

中平区では、「夏やすみいっしょにしゅくだいをやろう」と銘打って、7月30日から8月1日までの3日間、公民館、子どもを育む委員会、寿栄会の三者共同で小学生を対象とした夏休み学習会を開催しました。1日目は宿題に取り組み、2日目は染め紙でうちわ作り、3日目はわたちゃんのほのぼの劇場の人形劇鑑賞を

行いました。今年の猛暑日の中、大変暑い思いをしながらの3日間となりました。



矢高神社秋季例大祭に大人神輿と共に子ども神輿も参加しました。昨年は激しい夕立のため中止となりましたが、今年は大勢の子どもの参加があり、元気で賑やかにお祭りに参加することができました。



# 環境衛生

## 秋のごみゼロ運動

下茶屋支部長 鈴木亮弘

11月10日(日)、前日まで天候が心配されましたが、鼎地区環境美化活動の一環として「秋のごみゼロ運動」が実施されました。当日は地区により作業開始時間は異なりましたが、各地区ごみ拾いを中心に実施され、みんなが参加することにより各組合のまとま



区名	参加人数(人)			空き缶(個)	空きびん(個)	ペットボトル(本)	埋立(ごみ袋)	燃やす(ごみ袋)	金属資源(袋)
	大人	子ども	計						
下山	254	7	261	7	0	3	2	12	1
東  鼎	62	0	62	3	1	1	1	14 +320kg	1
西  鼎	50	0	50	0	0	0	1	6	1
下茶屋	115	14	129	10	3	4	2	0	1kg
中  平	229	10	239	16	6	10	2	44	2
上茶屋	54	2	56	3	1	3	0.5kg	1	0.5kg
切  石	405	10	415 +0.1kg	44 +0.1kg	5	37 +1kg	11 +1.05kg	23 +1.4kg	0.21kg
上  山	400	46	446	55	4	25 +2kg	2	19.5 +5.7kg	1kg
一  色	123	7	130	47	11	33	1kg	11	0
名古熊	274	19	293	68	3	42	6	21	5
合計	1,966	115	2,081	253 +0.1kg	34	158 +1kg	27 +3.55kg	151.5 +327.1kg	10 +2.71kg
その他	パックミラー、ミラーのガラス片、セトモノ、プラスチック破片、陶器の茶碗、牛乳パック、タバコの吸い殻、お菓子の袋、金属棒、紙コップ、パンパー、乾電池、塩ビパイプ端材、ライター、農業用支柱、中身入りペットボトル								

皆様ののおかげで多くの場所がきれいになりました。ご協力ありがとうございました！

りができたように思います。「ごみゼロ運動」は、春と秋の2回行われ、地域の美化活動やごみの減量・リサイクルの啓発に取り組み日となっております。少しでも地域の「ポイ捨てごみ」を減らすため、賛同された多くの皆様、ご協力いただきありがとうございます。また、環境教育の一環として、保護者の方と一緒に鼎地区をきれいにしたいと参加された小中学生の子どもたちも多く見られたこと、大変うれしく思います。

この「ごみゼロ運動」を通して各自が環境意識を高めることにより、この地域から少しでもごみが無くなり、ごみの適正な分別や基本ルールが

しつかり守られるようになります。



## リサイクルステーション

名古熊女性部長 深尾昌代

環境衛生委員として活動を始めてから7カ月。リサイク



ルステーションの設営も4回目となり、委員同士の協力体制も強固なものになってきました。

リサイクルステーションに持ち込まれる資源も、ほとんどの方がルールに則り「洗う・潰す」等を行って持参してくださるので、大変ありがたい思っております。

しかし中には、汚れたままキャップを外していないものもあります。私たちもその場で声をかけて返却したり、外して潰したりと一緒に作業をするのですが、混雑する時間帯はできないこともあります。以前、気が付いたらアルミ缶回収袋に中身が付着したツナ缶数個と、丸めたアルミホイ

ルがコロコロと入っていました。

資源を出す側、回収する側がルールを守り、気持ちよく運営できるように願いつつ、次回へ繋げていきたいと思いま

## 皆さん答えられましたか？

11月2・3日のふるさと 鼎・ふれあい広場文化祭にて、展示を行いました。大勢の皆さんに足を止めて見ていただくとうと、「ごみ出しガイドブック」を見ると答えが分かるようなウォークラリークイズを出題しました。「ペットボトル」の正しい処分方法は、「リサイクルステーション回収」です！ガイドブックをぜひご家庭でも活用して、正しい分別をお願いします。





### 県地区縦断駅伝大会

9月8日(日)に開催された第36回県地区縦断駅伝大会に参加しました。

第15分団には、自動車班、救護班、一色班、切石国道班、切石上班、名古屋班、東鼎班の7つの班がありますが、各班が1つのチームとしてタスキをつなぎ、無事完走することができました。

県地区の方々に消防団が火災出動だけではなく、様々な活動をしていることを知っていただけたら幸いです。

### 秋季非常招集訓練

9月21日(土)の夜間に、地域住民の方々や伊賀良消防署の協力を得て、矢崎製作所前(羽場)において秋季非常招集訓練を実施しました。



今年度からの取り組みとして、他分団との連携を図ることを目的とし、第3分団との合同訓練を行いました。

今回の訓練は、取水可能な水路と火点との距離が非常に長い場合を想定した訓練を実施しました。取水場所が遠い場合、ポンプ1基のみだと圧力不足により放水することが困難なため、途中で他班のポンプに中継しながら放水する必要があります。そのため、今回の訓練は、機関及びポンプ、計6基を中継し長い距離での放水を行うことができる訓練としました。

訓練中には、1基の機関がオーバーヒートするというアクシデントが発生しましたが、各団員が落ち着いて行動し、

オーバーヒートした機関を除いた5基で放水を行うことができました。

夜間における作業時の安全の確保、長距離における放水時の、他分団、各班の連携を学ぶことができた有意義な訓練になったと思います。

冬場は就寝時の暖房器具の消し忘れ等により夜間の火災発生も大いに考えられますので、今回の訓練の経験を踏まえて、活動にあたりたいと考えております。

最後に、夜間で周囲が暗い中、訓練にお越しいただいた方々、訓練にご協力いただいた各団体及び近隣住民の方々に厚く感謝申し上げます。

### 県ふれあい文化祭

11月2日(土)から11月3日(日)にかけて開催された県ふれあい文化祭にて、消防ポンプ車の展示をする予定でありましたが、悪天候により残念ながら展示は中止となりました。

お子様方が、消防ポンプ車に触れることができる貴重な機会だと考えていますので、今年参加を希望していた方のために、来年は展示ができればと考えております。

### 秋の火災予防運動

11月9日(土)に、県少年消防クラブの子どもたちと、イオン飯田アップルロード店舗にて、火災予防運動を行いました。子どもたちはイオンへのお客様に積極的にビラを配り、元気に火災予防の呼びかけをしてくれました。



### 県地区防災訓練

11月16日(土)に実施された県地区防災訓練に消防団も参加させていただきました。

訓練では、実際の災害時に使用される県中学校校体育館にて、会場の設営を行いました。本番を想定し、実際に会場設

営を行うことにより、改善点や課題等を共有することができ、災害時に備えるための、有意義な機会となったと思います。



### 団員募集のお知らせ

#### 消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など)

関心のある方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

0900-7247-2181

メール

aamunakyat.ke-aloha@doco

no.ne.jp